



第10回年会「エピジェネティクスのこれまでとこれから」開催

第10回日本エピジェネティクス研究会年会在、5月19日～20日の2日間、大阪千里ライフサイエンスセンターで開催されました。参加者は総勢311名で、3つの公益財団、17社の企業に協賛して頂きました。理化学研究所の石井俊輔先生による特別講演に加えて、歴代会長講演9題、ポスター120題、ショートトーク9題、さらに、奨励賞受賞者3名による講演、次回年会长講演が行われました。

本会は記念すべき第10回目の年会であり、年会长である仲野徹先生によって、これまでのエピジェネティクス研究を振り返り、さらに将来の展開を議論するような年会として企画されました。歴代会長講演では、研究歴から各分野の将来像、若手研究者へのメッセージが込められ、本会を特徴づける講演となりました。講演者の皆様、参加者の皆様、また、年会的運営をしていただいた仲野研の関係者の皆様、大変ありがとうございました。



奨励賞受賞者の表彰が行われました

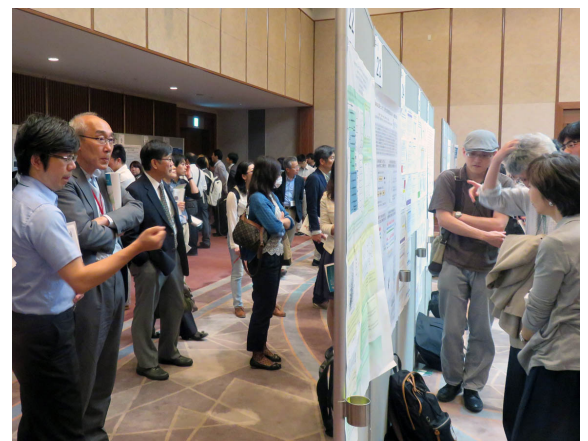
本会の賞等選考委員会による厳正な審査の結果、若手研究者の中から、国立がん研究センター研究所の服部奈緒子先生（左）、阪大微研の藤田敏次先生（中央）、筑波大の松崎仁美先生（右）の3名が選ばれ、受賞者講演の前に牛島俊和代表幹事による表彰が行われました。

おめでとうございます！



幹事会と総会が開かれました

- ▶ 5月19日に幹事会と総会が行われました。
- ▶ 2017年の年会は、眞貝洋一代表幹事（理化学研究所）を年会长として、5月22, 23日に東京・学術総合センターで開催される予定です。詳細が決まりましたらまたお知らせいたします。
- ▶ 2018年の年会长には、村上洋太幹事（北大）が選出されました。



ポスター会場の様子



第10回年会を開催して

第10回日本エピジェネティクス研究会年会長

仲野 徹

(大阪大学大学院 生命機能研究科 教授)

『エピジェネティクスのこれまでとこれから』をテーマにした年会を無事に終えることができました。多数の皆様においでいただき、また、活発なご討議をいただき、本当にありがとうございました。記念すべき第10回の年会ということで、歴代会長に、研究内容だけでなく、その将来像をふくめたご講演をいただき、非常に有意義な会にできたと考えております。また、エピジェネティック遺伝についての特別講演だけでなく、発表数を増やしたショートトーク、奨励賞受賞講演も聞き応えのあるものばかりでした。ショートトーク選定委員、座長の先生方、また、協賛いただいた企業の方々、本当にありがとうございました。この場を借りて、御礼を申し上げたく存じます。

来年は第11回大会が、『エピジェネティクスはどこまで操れるようになったか』をテーマに、眞貝洋一先生のお世話により東京で開催される予定です。エピジェネティクス研究の益々の盛り上がりを感じさせる年会になると期待いたしております。また、来年、皆様にお目にかかれるのを楽しみにしています。



情報を求めています！！

研究員・ポスドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしく願います。お近くの広報委員（中島欽一、梅澤明弘、古関明彦、胡桃坂仁志、中山潤一各幹事）に気軽に e-mail ください。

日本エピジェネティクス研究会事務局

山梨大学大学院総合研究部
環境遺伝医学講座内
庶務担当幹事：久保田健夫
担当：石川由美江
住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東1110
TEL: 055-273-9557
E-mail: jse-jimukyoku@yamanashi.ac.jp